木材利用・普及啓発

大阪府　大阪市（環境活動推進事業・「ゼロカーボン　おおさか」の実現に向けた大阪市地域脱炭素化推進事業）

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和４年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□　事業内容

環境活動推進事業

- 環境活動推進施設交流スペースにおいて国産木材を使用した備品の整備を整備することで、幅広い年代の子どもたちと保護者が、様々な角度から森林環境について考え学習する空間を創出し、学校や地域における環境教育やSDGsへの取組みに関する施策との相乗効果を生じさせるとともに森林の有する公益的機能の普及啓発を推進する。

【事　業　費】1,002千円（うち譲与税1,002千円）

【実　　績】・カウンターテーブルほか４点

・イベントノベルティ 約1,000点

「ゼロカーボン　おおさか」の実現に向けた大阪市地域脱炭素化推進事業

- AR技術等を活用した体験型環境学習コンテンツと連動するゲートに国産木材を活用することで、市民の地球温暖化問題に対する意識を高め、自発的な脱炭素型ライフスタイルの変革につなげる。

【事　業　費】387千円（うち譲与税387千円）

【実　　績】木製ゲート　１基

□　事業スキーム

一般競争入札等

□　基礎データ

①令和４年度譲与額：310,620千円	②私有林人工林面積（※１）：0.00ha	
③林野率（※１）：0.00%	④人口（※２）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※２）：157人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より